

CMSで ラクラク更新 ウェブサイト

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



text : 増田"maskin"真樹 illust : 小松恵

第9回

Movable Typeを使って情報配信サイトを作る⑤ MTの上級テクニックとサイトを広めるTIPS

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



さらにカスタマイズ、もっと便利に、より広く

Movable Typeの紹介は今回で最終回。締めにあつさわしいとおきのラクラクテクニックを紹介したいと思う。

もちろん前回紹介したテンプレートを中心としたカスタマイズを極めれば、一目見ただけではMovable Typeのサイトだとはわからないぐらいカスタマイズはできる。しかしテンプレートタグとそのテクニックを解説していけばそれだけで1冊の本になってしまうので、限られた誌面では紹介しきれない。それよりも、Movable Typeを扱う最終回として、「より効率よくエントリーし、かつblogの情報を広める」というテーマで、機能を拡張するプラグインや、blogをより魅力的なものにするASPサービス、操作性を高めるアプリケーションを紹介していく。今回はいろいろなものを紹介したいため、具体的なハウツーの手順は省略する。興味を持ったら自分でいろいろと試してみしてほしい。

MTをパワーアップする プラグインを使う

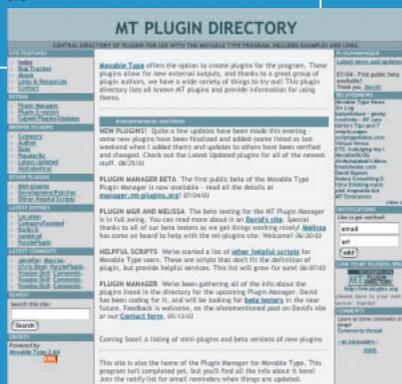
前回紹介したテンプレートタグは、Movable Type(以下MT)が提供する、あくまでレイアウトやコンテンツデザインを行うためのもので、それ以上のことはできない。しかし、MT用に提供されているさまざまなプラグインをインストールすれば

新しい機能を追加できる。

多くの作者によって作られたさまざまなプラグインがインターネット上で配布されているが、それらを統合的に紹介する「MTプラグインディレクトリー」(MT PLUGIN DIRECTORY、図1)を使うのが便利だ。すでに数十のプラグインが登録されており、頻繁に新しいプラグインが追加されているので早速アクセスしてみよう。

トップページ左側にある「BROWSE

図1 MT PLUGIN DIRECTORY



MTのプラグインが各種集まっているサイトはココ。英語だけなのが残念だが、MTを便利にするプラグインがそろっている。

URL 01 <http://mt-plugins.org/>

PLUGINS」にあるCategory、Author、Dateの各ボタンをクリックすれば、それぞれの切り口でプラグインを探せる。一番ポピュラーなのが「Category」だろう。Categoryをクリックすれば、用途別に表1のようなカテゴリーのプラグインがリストアップされる。プラグイン名をクリックして、詳細ページ(図2)から「Link」をクリックすれば入手できるサイトに移動できる。インストールは、MTのディレクトリーに「plugins」というディレクトリーを作り、そこにプラグインファイルをコピーする。プラ

グインはそれぞれ独自に定義したテンプレートタグで制御するので、使い方は各プラグインのドキュメントを参照してほしい。

プラグインで拡張できる機能は広範にわたる。単に表示をカスタマイズするだけのもから、MTのシステム自体をチューニングするものまでである。たとえば、「TopicIcon」のようにエントリーのタイトル部分にカテゴリーのアイコンを表示させる比較的簡単なものもあれば、エントリーを登録するカテゴリーに階層を設けられる「SubCategories」(図3)のような、システ

表1 MTプラグインディレクトリーのカテゴリー

addon	MTにさまざまな機能を追加するプラグイン。blogの機能を拡張するものから、天気予報を表示するものなどまでがある。
archive list	エントリーのリストアップの仕方をカスタマイズするもの。
author	blogに参加しているメンバーの情報を扱うものなど。
calender	カレンダーの表示に関する機能拡張。
category archives	カテゴリーにアイコンを付けるなどの表示やアーカイブに多様性をもたらすもの。
comment	コメントにスレッドを設けるといった機能拡張。
data-based archives	年間アーカイブを作るなど、アーカイブ関連の機能拡張。
entry category	カテゴリーページにヘッダーやフッターを付けるなどの機能拡張。
entry date	エントリーの登録日をさまざまな方法で表現するものなど。
evaluation	投票機能を追加するなど。
general	MTの機能そのものをカスタマイズしたり、新しい仕組みを追加したりするもの。
global attribute	MTのシステムをカスタマイズするものなど。
individual archives	エントリーの個別アーカイブに関する拡張機能など。
internal data	テンプレート関連の機能を拡張するもの。
layout	長すぎるアーカイブページを分割するなどレイアウトデザインに関する機能拡張。
outputted text	エントリー内のテキストにWikiフォーマットを利用するなど、テキストの表示に関する機能拡張。
programming	テンプレートにプログラミング的要素を盛り込む機能拡張など。
text formatting	エントリー内のテキストにフォーマット要素を盛り込む追加機能。
trackback	トラックバックを管理する機能拡張。

ASPをプラグインとして利用する

サーバーにインストールしなくても使えるASP型のプラグインもいくつか存在する。有名なのが「The Weather Pixie」だ(図4)。これは天気予報を表示する画像提供サービスで、多数用意されたアバター(キャラクター)とともにblogを彩ってくれる。登録サイトで天気予報を表示する場所を登録後、生成されるHTMLコードを自分のblogに貼り付けるだけでいい。これらは特にblog用というわけでもないが、blogで使えるASP型サービスはこれ以外にも多数存在する。

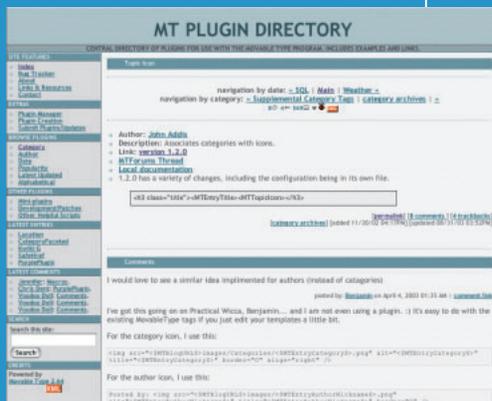
図4 ASPサービス「The Weather Pixie」



アバター(キャラクター)が天気を教えてくれるボックスを提供してくれるサービスだ。

URL: <http://weatherpixie.com/index.php?htm=1>

図2 MT PLUGIN DIRECTORYのダウンロードページ



MT PLUGIN DIRECTORYのサイトはわかりやすいとは言いが、いったん慣れば目的の情報にたどり着くのは難しくない。いろいろなプラグインをダウンロードして試してみよう。

図3 SubCategoriesプラグインを使ったサイト



たとえばSubCategoriesプラグインを使うと、カテゴリーにサブカテゴリーを設定できるので、階層化したカテゴリーリストを作れる。

ムに深く入り込んだものもある。「BlogTimes」は、エントリーがポストされた時間を24時間のタイムテーブル上に視覚的に表現して、エントリーのポスト頻度が一目でわかるGIF画像を生成できるが、PerlのGDライブラリーがインストールされている必要があり、共用サーバーなどでは利用できないこともある。

このようにMTのプラグインには、MTのシステムだけでなくサーバーの機能を使うなど非常にパワフルなものもあるが、そういうものはそれだけインストールが難しくなるので注意しておこう。とは言ってもインストールのためにプログラミングの知識が必要かと言うとそうでもない。独自のサーバーマシンを持っている人なら問題はないし、Perlのライブラリーなら比較的多くのもがMTのextlibディレクトリーにインストールすれば動作する。ホスティング会社によっては頼めばインストールしてくれることもある。

毎日の入力をラクにする Bookmarklet

blogと言えば、「本文 + 他ページへのリ

ンク」という表現が定番だ。自分で入力した記事の流れを一本化して、関連情報はリンクで済ましてしまうというスタイルに慣れてくると、ほかのウェブサイトを見ている際に、「このページに書かれている情報についてのエントリーを作ろう」と思うことがしばしばある。そんなblog創作意欲を支援してくれるのがMTの「Bookmarklet（ブックマークレット）だ。

Bookmarkletは、クリック1つで表示しているウェブページへのリンクを作成し、新しいエントリーのフォームに入力してくれるもの。ウェブページのタイトルとリンクが自動的に作られるのでHTMLコーディングの手間なく、すぐに自分のアイデアや意見を入力し始められる（図5）。

Bookmarkletを使うには、ログイン直後のメニューにある「BOOKMARKLETの設定」リンクをクリックする。まずはBookmarkletを使ってエントリーを投稿する際に入力する項目を設定する。普通のエントリーを追加するには「Extended（追記）」にチェックを入れるだけでOKだが、すべてのチェックをONにすればあらゆる要素を入力できるようになるので、初めからそうしておくものいいだろう。後は「CREATE」ボタンをクリックすれば設定し

た機能を持つBookmarkletのリンクが表示されるので、そのリンクをブラウザのお気に入りやブックマークに登録する（図6）。ページを表示している状態でBookmarkletを選択すると、即座にそのページに関連したエントリーの入力を開始できる。

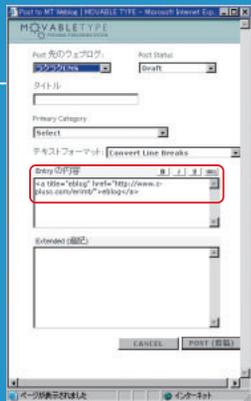
ウィンドウズでIEを使っているなら、右クリックメニューにBookmarkletの機能を追加できる。この機能を使えばさらに記事の投稿が楽になるはずだ（図7）。

管理をラクにする Kung-Logで快適エントリー

ウェブページからコンテンツを更新・編集できるのは手軽で便利だが、エントリー専用アプリケーションを使えばもっと便利にかつリッチな表現が可能になる。

Mac OS X専用の「Kung-Log」[URL03](#)は、電子メールソフトのようなインターフェイスで、blogのエントリーを作成できる便利なソフトだ（図8）。MTと直接接続して、最新のエントリーリストを取得してくれるだけでなく、すでに保存済みのエントリーを呼び出して編集し直すことができる。

図5 リンクが保存されたエントリーページ



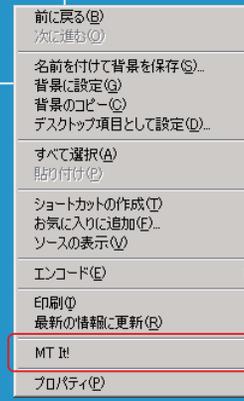
Bookmarkletをクリックすると、開いているウェブページへのリンクのHTMLがあらかじめ入力された状態で記事のポスト画面が表示される。このままエントリーを完成させてポストすることが可能だ。単にこれだけの機能なのだが、意外と使い勝手が大きく変わる。まさに「ブックマーク」という感じでblogが使えるようになる印象だ。

図6 リンクを保存するだけで設定完了



メインメニューから「Bookmarklet」をクリック。「Post to MT Weblog」というリンクをドラッグ&ドロップでメニューバーの「リンク」に設定する。「お気に入り」に直接登録するのもいい。

図7 ウィンドウズの場合にはもっと強力



ウィンドウズでIEを使っているなら、右クリックで使えるBookmarkletを設定できる。Bookmarkletの設定ページで「MT It!」をWindowsの右クリックメニューに追加する。右クリックすると、レジストリエディターからのダイアログが開くので、これに「はい」と応えるだけで設定が完了する。ブラウザを一度終了して再度起動すれば、blogにポストしたいページで右クリックをすればこのようなメニューが表示され、「MT It!」が選択できるようになる。

また、画像ファイルのアップロードに関する機能が充実しているのは特筆できる。複数の画像ファイルをドラッグ&ドロップで指定できるだけでなく、すべてのプロパティをGUIで設定できる。また、「サムネイル」機能というものがあって、アップロードしたファイルの縮小イメージでボタンを作成して、それをクリックすると大きな画像をポップアップで表示するJavaScriptを自動的に生成してくれるなど、より魅力的なblogを作る支援をしてくれる。一度使ったら手放せなくなるだろう。残念ながらウィンドウズで動作する同等のソフトは今のところないようだ。

**携帯電話から記事を
投稿できる Moblog**

携帯電話の普及率が一般電話を超えている日本ならではの盛り上がりを見せているのが「Moblog (モブログ) である。日本で最も使われている Moblog サービスは「moblog メールゲートウェイ」[URL04](#) だろう。2002年12月31日に、ネオテニーの伊藤穰一氏が、携帯電話などから写真のエントリーをメールで受け付けてウェブペー

ジで一覧表示する日本初の Moblog イベント「BLOG MISOKA」[URL05](#) を行ったのだが、その後、それを開発したネオテニーの平田大治氏が実験的に Movable Type などで使える XML-RPC に対応させ、携帯電話から blog にメールでポストできる ASP サービスとしてスタートさせたのが moblog メールゲートウェイだ。このサイトでアカウントを作成して自分の blog の情報を登録 (図9) する。発行される専用のメールアドレスに携帯電話で撮った写真付きのエントリーをメールで送信すれば、自動的に自分の blog にポストされる仕組みだ。

Moblog を使った blog への情報供給は「ナノジャーナリズム」と呼ばれるほどで、リアルタイムに思ったことをエントリーとしてポストできることに大きな価値をもたらしている。たとえば8月に起こった宮城県北部地震の情報が Moblog で公開される [URL06](#) などアクティビストの強力なアイテムに成長しつつある。moblog メールゲートウェイは、メールであればどんな媒体からでも受け付けられるので、携帯電話でなくても、パソコンからデジタルカメラを貼り付けたエントリーをポストしても使える。blog のサイトにログインしたり、特別なア

プリケーションを立ち上げたりする必要がないため、これを標準の入力方法として使っている人も多いようだ。

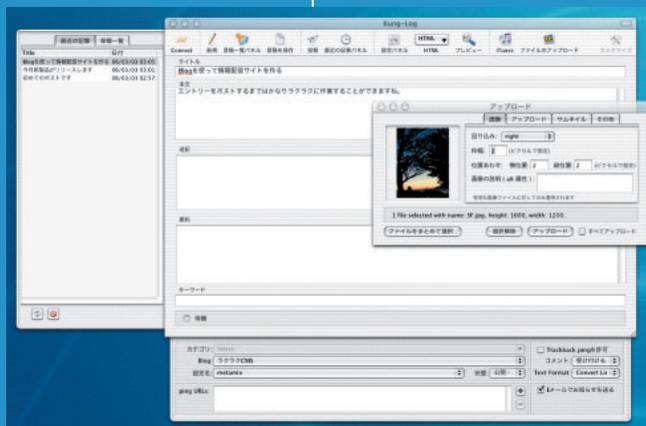
また、これは米国でのサービスだが、ある特定の留守番電話にメッセージを吹き込むと、それが音声ファイルとして blog のエントリーに添付されてポストされる「Audblog」[URL07](#) というサービスもある。

Kung-Log も Moblog も Audblog も、MT が持つ XML-RPC という、外部から MT の機能进行操作するインターフェイスを利用している。こういった XML による高度なインターフェイスを使って機能が広がるのが、blog のすばらしい点だと言えるだろう。

**更新したら ping サイトに
自動通知**

ping サイトというのは、blog の記事単位での更新情報をまとめてあるサイトだ。MT では、新しいエントリーが追加されるとその情報を ping サイトに自動的に送れる。これを「ping を打つ」と言う (トラックバックの ping とはまた違うものだ)。ping サイトはたくさんのサイトから送られた更新情報をウェブサイトで一覧表示したり、RSS

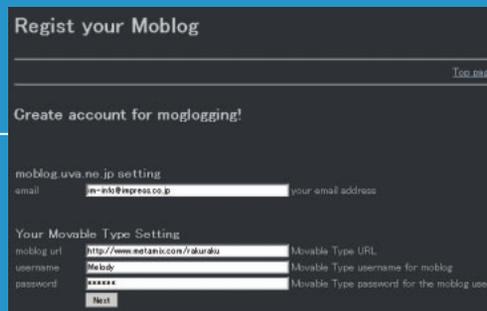
図8 Kung-Log



blog と完全に連動したアプリケーション。Kung-Log 内に書きかけのエントリーを保存しておくこともできる。

[URL03](http://kung-foo.tv/) http://kung-foo.tv/

図9 Moblog の登録



Create new account のリンクから Moblog のアカウントを作る。最初のページでは自分のメールアドレスと、blog の URL、MT のユーザー名、パスワードを入力する。[next] をクリックして xmlrpc API を判定できないと表示される場合は、mt.cgi と同じディレクトリーにある mt-xmlrpc.cgi を指す URL を [weblog xmlrpc url] に入力しよう。

を提供したりするいわゆる「メタサイト」となる。読者はpingサイトのウェブページやRSSフィードリーダーでさまざまなblogの更新情報をまとめてチェックできる。pingサイトが提供するRSSを、自分のblogで利用することもできるというわけだ。

自分のblogを広く知ってもらうには最も重要な機能といえるのだが、意外と知られておらず、日本で立ち上がっているものは少ない。平田大治氏が実験的に運営するpingサイト **URL08** は、米国で有名なTechnoratiにpingの内容を転送する仕組みを備えており、情報をさらに拡散させる特徴を持っている。pingサイトの仕組みを利用した日本初のblogポータルとして8月18日に登場したのが、京都市のドリコムによる「Myblog japan」 **URL09** である。Myblogでは、独自のpingサイト **URL10** を設置して最新情報を受信できるようにするとともに、blog専門のディレクトリーサービスも用意した。

MTには、登録されたエントリーを告知する機能が標準で搭載されている。blogの編集メニューから「ウェブログの設定」を開くと(図10)「Publicity」という項目があるのがわかるだろう。その部分を見ると「ウェブログが更新されたときに通知する」

という項目を設定でき(図11)、デフォルトではblo.gsやweblogs.comが挙げられており、複数のblogから最新エントリーを収集し、統合的にそれを告知する広報サイトとして機能する。日本語のサイトならば、下のフィールドにpingサイトのURLを直接追加して使うことになるだろう。

今後、ホスティング会社などが大規模なアクセスに耐えうるpingサイトを開発したり、特定のテーマに限定したpingサイトが登場したりすると考えられる。具体的な表明はまだ行われていないが、いずれにせよ、今後のblog関連市場を創造する重要なサービスだと理解しておこう。

自分のMTサイトを 広めるテクニック

blogツールであるMTだが、情報配信サイト構築ツールとして必要な機能を提供していることはわかった。しかし、サイトをより多くの人に見てもらうにはどうすればいいのだろうか。

普通に考えると、SEO(検索サイトで自分のサイトが上位に表示されるように、サイトを最適化する手法)の考え方をベース

にしたHTMLコーディングのテクニックを使うという方法があるだろう。MTは静かなHTMLを生成するので、MTサイトは検索エンジン対策を考えるとよくできていると言えるだろう。

しかもblogは、そもそもデータ構造が検索エンジンのロボットと相性が良いだけでなく、blog間でリンクを張り合ったり、トラックバックで互いの記事を紹介したりするなどしてリンクを多く使う文化が定着しており、リンクポピュラリティー(リンクでページのランクが上がる仕組み)を獲得しやすい。また、blog同士が協調することで人の目に触れやすくなる、独自の構造を持って動いていると言える。したがって、まったく違う概念の成果の出やすい「アクセスアップテクニック」が存在するのである。

また、MTをCMSとして考えたとき、適用範囲は制作だけにとどまらず、認知度向上のためのblogの特徴作りや、更新作業の効率化による更新頻度の改善など、普通のホームページではできなかったことが実現できるようになる。それらを整理して、blogがより多くの人に触れられるような総合戦略を考えてみてはどうだろうか。

筆者のblog「METAMix! maskin's blog」は、200種類程度のキーワードで

図10 MTの編集メニューから「BLOGの設定」「ウェブログの設定」を開いたところ



図11 MTのPublicity機能でpingを設定する



pingサイトはウェブログが更新されたときにMTが自動的に更新通知をするサイト。標準ではblo.gsやweblogs.comが登録されているが、画面のように新たに追加することも可能だ。

図12 Myblog japan



8月18日にベータ版をリリースしたMyblog japanはディレクトリー形式で情報をまとめているサイトだが、Movable Typeのping送信機能を使って記事の更新を通知できる。サイトでは最新記事一覧のRSSファイルなども入手できる。

Googleのトップ10以内にランクインされるようになっており、月間アクセスは15万PV、ユニークユーザーは4万人を超えた。このアクセスの30パーセントは検索エンジンからの誘導である。それ以外にも、blogを適用した企業サイトで、1~2か月で検索エンジンのトップにランクアップされるケースが実際に多数存在しているのである。

情報配信サイトとblogの今後

このところのウェブ関連技術の動向はまさにMTを中心としたblogにフォーカスされている。blogは、ブームの一端である風潮もあるのだが、その利便性やコミュニケーション形成の面で、確実にインパクトを与え続けている。また、情報サイトにblogを適用することで、アクセスが著しく増大するなど、結果としてblogがウェブ関連マーケットに大きな影響を与えていることが証明され始めている。

しかし、MT自体が英語であったり、日本語のツールが少なかったりという現状があり、これ以上の普及を考えるとこういった

部分が障壁となってくる懸念もある。また、RSSは徐々に普及してきているがまだ完全に認知されたとは言い難い。またpingサイトやXML-RPC対応のツールも少ないことは、今後のblogやウェブサービスの発展には課題となるだろう。

5回にわたってblog構築システムであるMTを、インストールから活用まで紹介してきたが、初心者からベテランユーザーまでを対象にblogの魅力や可能性を伝えられたのではないかと思う。

MTを使えばCMSとして管理運営効率が向上するだけでなく、MTがXMLを標準データ構造として取り上げている事実を核に、XMLベースのウェブマーケティングや、今後さまざまなウェブサイトに適用できるといった可能性を感じて頂けたならば幸いである。

特に「XML-RPC」「RSS」「pingサイト」「メタサイト」、これらの4つのキーワードが今後さらに価値を帯びてくる可能性が高い。これらの要素がどこまで発展して多様なサービスを提供するかがウェブサービスの試金石になるだろう。すでにblog以外のCMSでの導入も進んでおり、そのスピードは日々加速するばかりだということをお伝えしておく。

次号からは、パブリッシュ(情報配信)型のblogとはちょっと変わって、コラボレーションソフト「Wiki」をテーマに、数回に分けてその魅力やインストール、活用の仕方についてお伝えしていく。

フリージャーナリスト 増田(maskin)真樹
Blog : metamix.com

MT PLUGIN DIRECTORY

URL 01 <http://mt-plugins.org/>

The Weather Pixie

URL 02 <http://weatherpixie.com/index.php?htm=1>

Kung-Log

URL 03 <http://kung-foo.tv/>

moblogメールゲートウェイ

URL 04 <http://moblog.uva.ne.jp/>

BLOG MISOKA

URL 05 <http://www.bloggers.jp/>

宮城県北部地震レポート

URL 06 http://www.npo-aichi.or.jp/shintuna/mt/report/archives/2003_08.html

audblog

URL 07 <http://www.audblog.com/>

ping.bloggers.jp

URL 08 <http://ping.bloggers.jp/>

Myblog japan

URL 09 <http://www.myblog.jp/>

Myblog japan 更新通知URL

URL 10 <http://ping.myblog.jp/>

MTサイトのアクセス向上テクニック

1 .RSSフィードは必ず行う

RSSフィード(RSSテンプレートの用意)は必ず行う。バージョンはRSS 1.0を中心にできるだけ多い方がいい。そもそもMTのデータはXMLという標準仕様で作られており、それだけでもサーチエンジンのロボットと親和性が高い。RSSファイルをフィードすることで、RSSリーダーという専用のアプリケーションなどで閲覧されるだけでなく、他のサイトでその内容が表示されるなど二次利用の可能性も出てくる。

2 .pingサイトを活用する

blogの世界には、さまざまなblogのエントリーを一括し、広く普及させてくれるサイトが存在する。解説したように、MTで設定すれば複数のpingサイトに対してエントリーの更新情報を伝えることができる。

3 .毎日更新する

記事を追加すればトップページだけでなくRSSも更新され、pingサイトに告知される。毎日更新すれば読者の信頼感を向上させるだけでなく、RSSリーダーユーザーへの告知にもなる。

4 .トラックバックを活用する

MTでは、文脈上関連のあるエントリーにトラックバックをかけることができる。相手のblogに自分の記事が表示されるようになり、関係のある情報であれば、それをたどってblogを訪れてくれる可能性も高い。この機能は関連のあるテーマを取り扱うblogをコミュニティ化する特徴を持つ。またこのリンクが、検索エンジンにおけるblogサイトの価値を高める1つの要因となる。ただ、MLに載せられるスパム広告のように、関係のないものをトラックバックすると非難されてしまうので注意は必要だ。

5 .短いリードを用意する

これはblogに限らずすべてのウェブサイト、さらには通常の紙の文書でも問題になることだ。サイトに書く記事の特徴にもよるが、まず初めに「タイトル・リード」があって、そこから「導入、詳細、分析、結論、考察」と流れていった方が読者にとって入りやすい。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp